

酪農飼料価格高騰対策事業

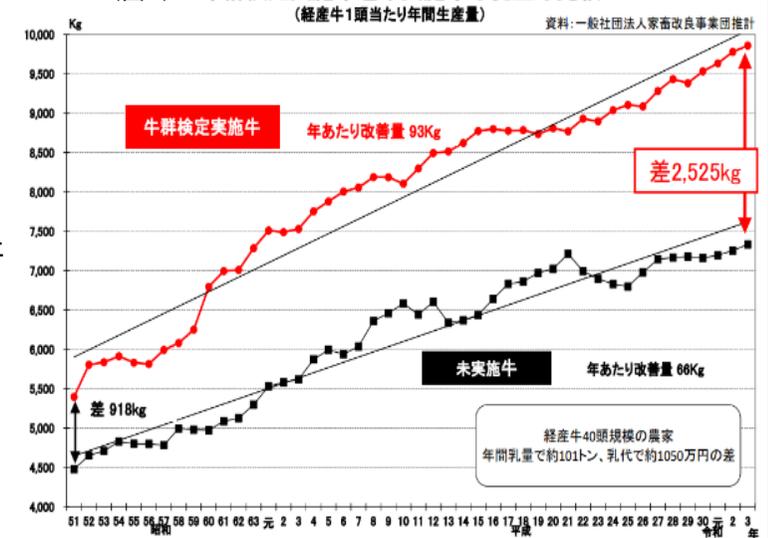
【現状・課題】

- 飼料価格高止まりの影響を受け、生産コストの5割以上を占める飼料費が大きくなっていることから、酪農経営は厳しい状況である。
- このような中、酪農経営を持続するには、飼料価格上昇分の一部補助に加え、生乳売上額に影響する乳牛1頭当たりの生乳生産量の増加が有効である。
- 乳牛1頭当たりの生乳生産量は、牛群検定の活用が効果があり、牛群検定の実施牛と未実施牛との乳量差は、約2,500kgある（図1）。
- なお、本県は牛群検定の実施率が全国と比較して低い状況にある（表1）。

（表1）牛群検定の実施率（令和6年度7月末）

	福島県	全国	都府県
検定農家比率（％）	29.1	52.2	40.9
検定牛比率（％）	36.4	61.1	43.6

（図1）牛群検定実施牛と未実施牛の乳量の比較



【事業内容】

本県酪農家（生産者団体経由）を対象に、**飼料価格が高止まりしている中でも維持・発展可能な酪農経営に移行できる**よう、輸入粗飼料価格上昇分の一部を支援するほか、乳量増加による所得向上ができるよう、牛群検定の普及・活用による所得向上支援を進め、酪農経営の安定化に取り組む。

○ 取組内容

取組1 輸入粗飼料価格上昇への補助

輸入粗飼料価格と乳価の動向を踏まえ、2,000円/tを上限に輸入粗飼料価格上昇分の一部を支援する

○ 取組2 牛群検定の普及・活用による所得向上支援

ア 必要な機器導入経費：ミルクメーター、ATタイマー等の購入や設置に係る費用

イ 検定情報に基づく飼養管理改善経費

（1）畜舎改善：牛床改善、餌槽改善、換気改善、暑熱改善等に係る費用

（2）乳牛改善：牛群検定経費、乳房炎ワクチン経費、早期妊娠鑑定検査経費に係る費用

ウ 普及拡大に要する経費（生産者団体が開催する研修会経費）

○ 補助率 定額 : 取組1と取組2のウ

3/4以内：取組2のア、イ

